



八学大・小林学長

野辺地西高の移転 支援など県に要望

宮下知事訪問

前八戸市長で、今春に八戸学院大の学長に就任した小林眞氏が2日、青森県庁を訪れ、宮下宗一郎知事に地域連携などについて抱負

大学の運営などについて抱負を語る小林眞学長
112日、青森県庁

を語った。県に対しては、学校法人光星学院が運営する、八戸学院野辺地西高(野辺地町)の旧五戸高跡地への移転や八戸学院光星高に設置する通信制課程などへの支援を要望した。

学長特別補佐の種市朋哉氏、短期大学の杉山幸子学長も同席。小林氏は「さまざまな改革をしながら、地域や県全体の発展に貢献

できるよう取り組んでいく」と強調し、若者の県外流出対策について宮下知事と意見交換した。

宮下知事は、むつ下北キヤンパス(むつ市)の開設などを挙げ、「大学や高校の多様性、柔軟性が求められる中、ニーズをくみ取ってもらっている」と一層の連携に期待を込めた。

(磯野雄太郎)